

2006 年 3 月 30 日
株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、個人向けサービスIIJ4U・IIJmioに送信ドメイン認証フィルタ機能を追加

－迷惑メール対策を強化し、ドメイン名を詐称した迷惑メールの受信を防止－

株式会社インターネットイニシアティブ(以下 IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木 幸一、コード番号:3774 東証マザーズ)は、個人向けインターネット接続サービス「IIJ4U」、「IIJmio」の迷惑メール対策強化の一環として、2006 年 3 月 30 日より、「送信ドメイン認証フィルタ」の機能を提供開始いたします。

今回、追加された「送信ドメイン認証フィルタ」では、お客様が受信するメールについて、SPF (Sender Policy Framework)^(*)を利用して送信元メールアドレスの正当性をチェックし、その判定結果をメールヘッダにスコアとして記述します。お客様は、そのスコアを基に、メールフィルタ設定画面から「通過」または「ごみ箱に入れる」の条件を設定することで、送信元アドレスを詐称した迷惑メールを受け取る前にフィルタすることが可能になります。

＜スコア記述例＞

スコア	スコアの持つ意味
pass	認証成功
fail	認証失敗 ・ 送信元メールアドレスは詐称されている
softfail	認証失敗 ・ 送信元メールアドレスは詐称されている可能性がある
neutral	認証不可能 ・ 送信元メールアドレスの正当性を判断できない
temperror	認証不可能 ・ 認証処理に障害が発生
permerror	認証不可能 ・ 認証情報の記述に誤りがある
none	認証情報が存在しない

迷惑メールの多くは差出人の情報を詐称して大量に配信されるため、その対策として、メール送信元の正当性を確認する「送信ドメイン認証」による効果が期待されています。IIJ4U、IIJmio では、すでに2005 年 12 月より、お客様が送信するメールについて「送信ドメイン認証」を導入しており、IIJ4U、IIJmio のドメイン名を詐称した迷惑メールの送信を抑止する効果を上げています。

今回の機能追加は、この送信ドメイン認証の仕組みを受信メールにも活用することで、IIJ4U、IIJmio で受信される迷惑メールへの対策をより一層強化するものです。

IIJ では、お客様にとってより快適で安全なメール環境を提供するため、今後もサービスの充実を図ってまいります。

(*) SPF (Sender Policy Framework): 米Pobox.comの創設者Meng Wong氏が作成したIPアドレスベースの送信ドメイン認証技術。送信者のドメイン名からDNS上の送信メールサーバ情報を取得し、直近の送信メールサーバのIPアドレスが含まれているかを調べることによって、送信メールのドメイン認証を行なう。

■対象サービス

- IIJ4U
- IIJ*mio*セーフティメールサービス
- IIJ*mio*プライムメールサービス

※IIJ*mio*パーソナルドメインサービスは対象外となります。 ※本機能の追加に伴う料金の追加・変更はありません。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 川上、富永

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail: press@ij.ad.jp URL: <http://www.ij.ad.jp/>